

アクセス



〈公共交通機関ご利用の場合〉

京阪をご利用の方

- 京阪「神宮丸太町」駅より(徒歩13分)
京都市バス65系統「岩倉操車場前ゆき」乗車(所要約2分)「近衛通」下車すぐ
- 京阪「出町柳」駅より(徒歩19分)
京都市バス201系統「みふ操車場前ゆき」乗車(所要約4分)「近衛通」下車すぐ

地下鉄をご利用の方

- 地下鉄「丸太町」駅より
京都市バス65系統「岩倉操車場前ゆき」乗車(所要約7分)「近衛通」下車すぐ
- 地下鉄「今出川」駅より
京都市バス201系統「みふ操車場前ゆき」乗車(所要約9分)「近衛通」下車すぐ
- 地下鉄「北大路」駅より
京都市バス206系統「京都駅前ゆき」乗車(所要約17分)「近衛通」下車すぐ
- 地下鉄「東山」駅より
京都市バス31系統「岩倉操車場前ゆき」乗車(所要約5分)「近衛通」下車すぐ

京都駅をご利用の方

- 京都駅八条口より
京大病院ライナー hoop 乗車(所要約25分)「京大病院前」下車 徒歩3分

京都近衛リハビリテーション病院

〒606-8315 京都市左京区吉田近衛町 26
TEL: 075-762-5000
FAX: 075-762-5010

京都大原記念病院グループ



京都大原記念病院グループ
KYOTO OHARA HUMAN CARE NETWORK

このえ 京都近衛リハビリテーション病院

すべては患者様の豊かな生活のために
その人らしい生活への挑戦



Kyoto Konoe Rehabilitation Hospital

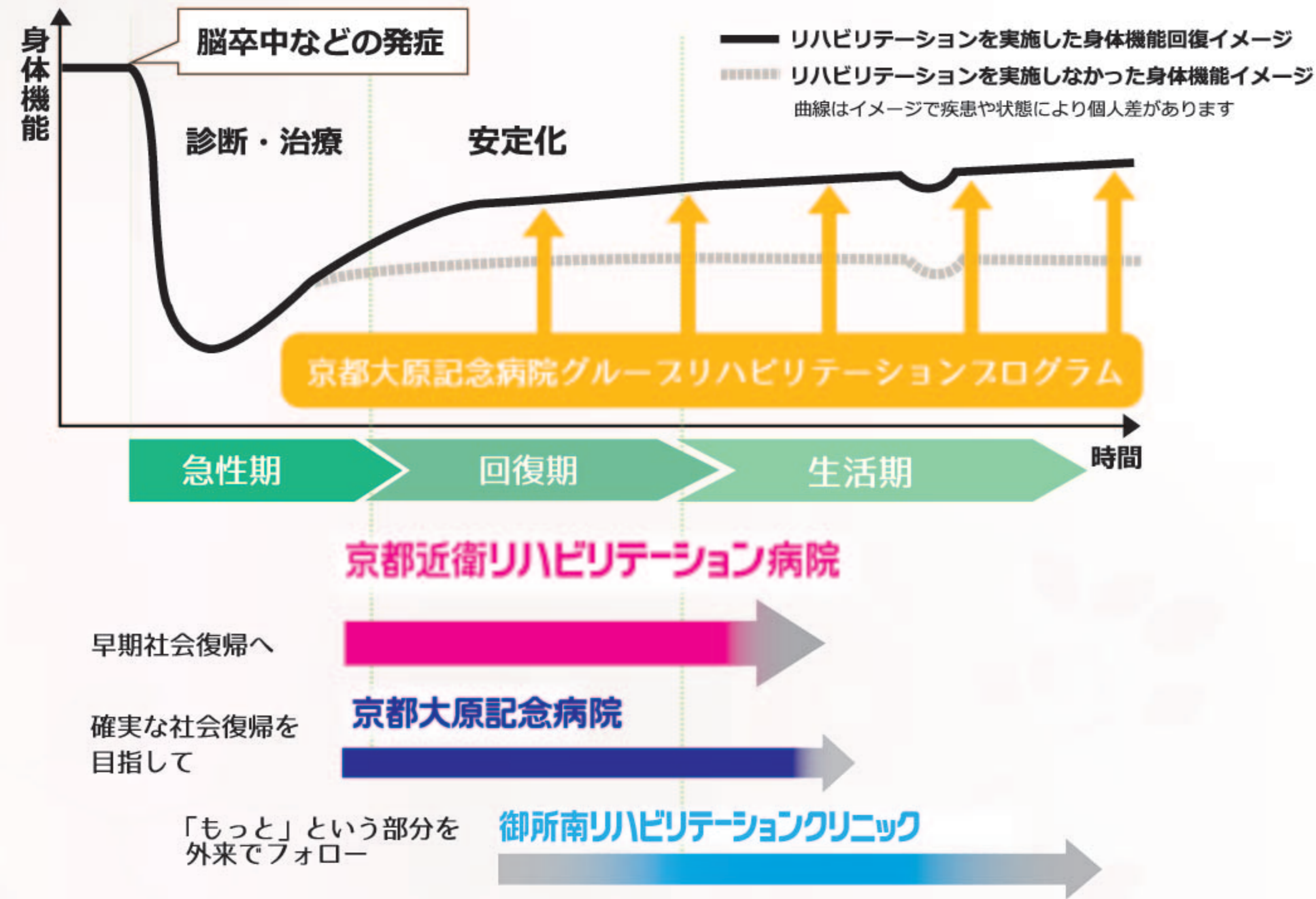
京都大原記念病院グループ

グループ医療拠点に於ける位置づけ

リハビリテーションを必要とする疾患は代表的な脳卒中を始めとして数多く存在します。疾患の発症後、全身管理を必要とし、まずは状態安定のため治療が最優先されるべき「急性期」治療を経て状態が安定し全身が回復に向かう「回復期」退院後、自宅での生活がベースとなる「生活期」と大きく3つのステージに分けられます。

かつては、発症直後の早期段階で運動するとさらに症状が悪化するとされていましたが、現在ではガイドラインも見直しされ、廃用症候群の予防、日常生活動作（ADL）の早期向上と在宅復帰を目指し適切な医学的リスク管理のもと発症直後からリハビリに取り組むことが強く推奨されています。

グループにおける新病院の役割



京都大原記念病院

京都近衛リハビリテーション病院は リハビリテーション専門病院（回復期リハビリテーション病棟）です。全身状態が落ち着き、身体機能が回復に向かうとされる回復期に密度の高いリハビリテーションを提供します。急性期から回復期・生活期へステージが移る患者様をより早期段階から円滑に受け入れる拠点として、その後の生活期まで見据えたプログラムを提供します。社会復帰を目指す勤労世代へのリハビリテーションに重点を置くのが特徴です。

京都大原記念病院では、回復期から生活期にかけてじっくりとグリーン・ファーム・リハビリテーション® など大原の環境下だからこそ可能なプログラムなどを基軸にリハビリテーションを提供します。また生活期では、外来専門の御所南リハビリテーションクリニックが科学的根拠に基づくプログラムでフォローします。

新拠点の開設により、大原、御所南に加え左京区吉田近衛町の3拠点体制となり途切れなく各ステージに応じたリハビリテーション医療を提供するネットワークを構築します。



御所南リハビリテーションクリニック

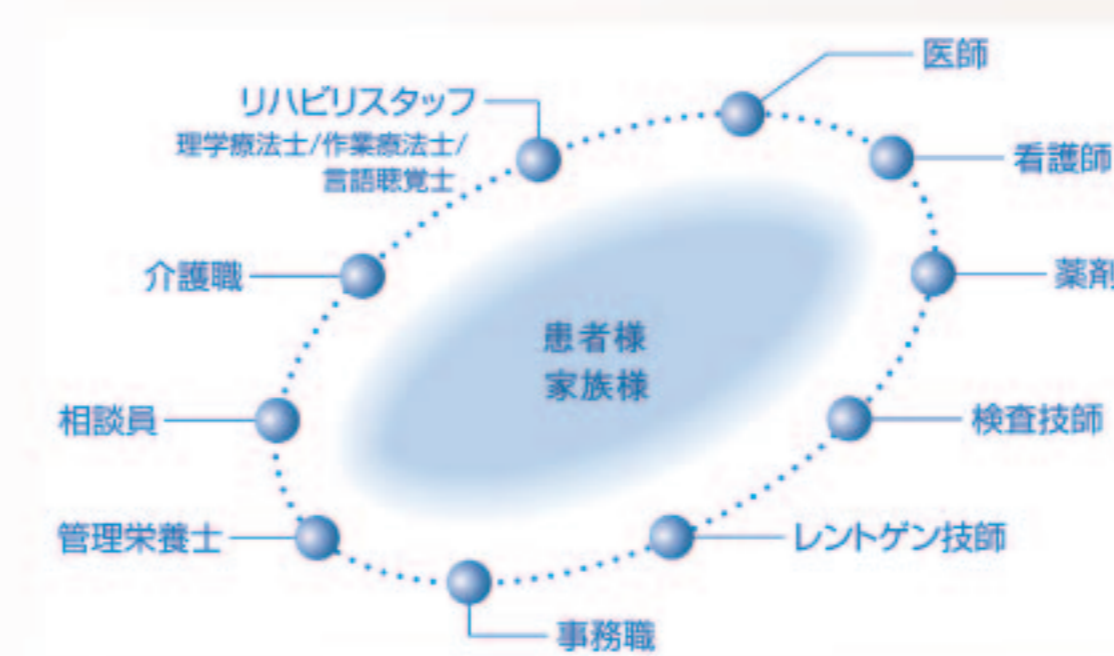
新病院のリハビリテーション医療

京都大原記念病院グループが掲げるリハビリテーションの目的

京都大原記念病院グループでは、患者様が退院後に朝起きてから夜寝るまでの間不安なく過ごすことができるように

患者様の自立 介護負担の軽減 安心の提供

この3つの目的を掲げ、医師、看護師、セラピスト（理学療法士、作業療法士、言語聴覚士）介護職、管理栄養士、医療ソーシャルワーカーなどが、在宅復帰はもちろんのこと、社会復帰を目指す勤労世代の方々のサポートも積極的に行います。京都近衛リハビリテーション病院は専門性の高いスタッフがリハビリテーションチームとして連携し、患者様一人ひとりに対応していきます。



365日途切れることのないリハビリテーション

入院生活すべてをリハビリテーションと捉え、動作獲得のためにトイレや食事など必要な動作、活動を繰り返し行い、リハビリテーションの訓練で「頑張ったらできること」を、病棟で「当たり前に行えること」につなげるようトイレや浴室など実際の生活場面での訓練も積極的に行います。それらの活動を朝起きてから夜寝るまで一貫して行うことができ、退院後の生活が困らない運動量・活動量を提供します。



集中的なリハビリテーションを患者様とともに

回復期リハビリテーション病棟で患者様に行えるリハビリテーション時間は1日最大3時間と定められています。訓練時間だけでなく、朝起きてから寝るまでの入院生活すべてをリハビリテーションと捉え、それぞれの動作に目的をもって、できる限りご自身の力で生活できるよう努めていただきます。



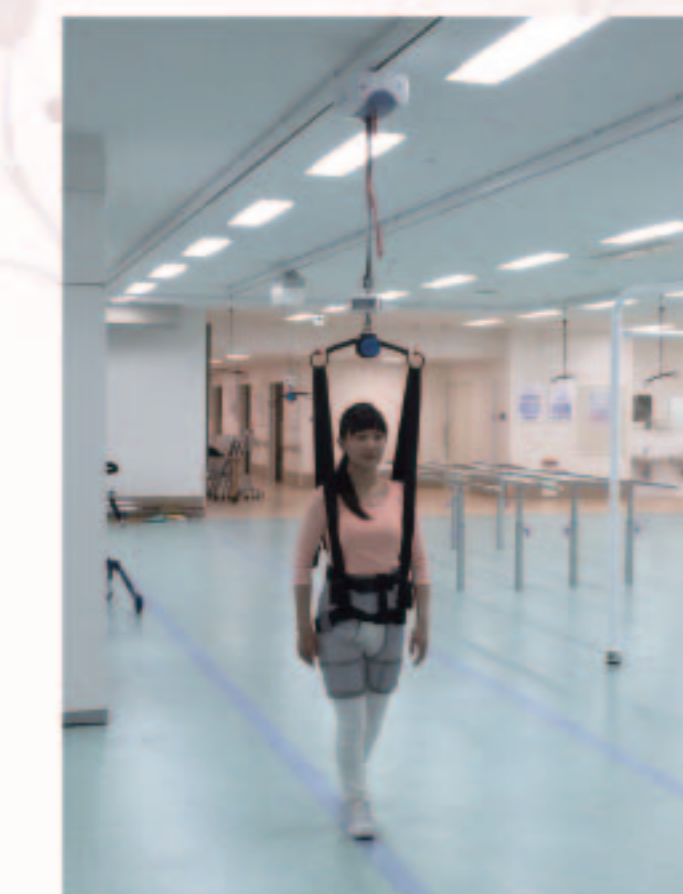
集中してリハビリテーションを行っていただくために

ADL室（2階リハビリテーション室 南側）
京都大原記念病院で培ったノウハウ。東山通に面した開放的な空間、効果的なリハビリテーション機器、自宅環境をイメージした1LDKのADL室。患者様に最適なリハビリテーションを提案していきます。より日常に近い環境の中でシミュレーションしていただくのはもちろんのこと、患者様やご家族がご自宅で安心して生活していただけるよう様々な提案ができるADL室です。



薄型低床トレッドミル

高機能満載の歩行リハビリテーション用トレッドミル。薄型低床で乗り降りの難しい患者様の歩行訓練にも使用可能です。



レール走行式免荷リフト

身体を天井から吊るし体重を免荷した状態で立位や歩行訓練を行うものです。亜急性期の患者様に早期から立位・歩行訓練を行うことが可能です。